



謹啓 益志勇健子の

在 大慶 至極子 尊厳子

ワリ 此度 香子の 男子

出生 即ち 早産 祝

電を 存し 宜良 難

あり 或佩し 初産の 為

聊か 以配 伊と 慶幸子

安産子 殊子 青島

陥落の 祝捷 會と 市

民の 歎 敵 福か 如子

場合子 出生 既に 成り ぬ

一層 嬉し 事子 極子

為の 之と 紀念子 して 其

...

一層嬉しき事と稱  
為の之と紀念ありて其  
名を武之助と命名  
取し史亦笑家系と云  
時先般彦上大夫畧  
取聞入られたるゆり小生の才  
六愈も去月限を明治  
銀行の常務を辞し後  
任の大三輪中も来任にお  
成り處小生の本據  
来月開き登り谷古尾  
電氣鐵道の總會を  
専務取締役の兼任  
と云々ありて  
主中野心と抱くも有  
し又夕に來の専務も  
大分不練ありし程も  
見し處要するに神  
野金し血中の決心次第  
を決定する例歎され

野金し血の決心次第

え決定する例歎るれい

一子日もの決定も望ま厲

一唐も血旅知のあり日

の性質ととも出地清

の勇氣を之く往く鏝

元を柱にお遠と来すと

ありしと為の甚多の配

はありしと成るよ幸に

神野や、羽のにも也系

の苦業自然考邦

拝謁と得るるとを

二付甚多勝手の成願

其際日や、

閣下

貴様は是を通り社

長となり<sup>新</sup>上遠野と専

務に締後ととも<sup>新</sup>来の

積弊を一洗し改善

の實と世帯く登し

是をこの因に繋ぎ因

つ實と尊く登

是を以て因縁撃因

は此處りて他日後悔

す登一今日貴標

か退隱するべき考

を起して無責任の

答を先として能弁

へし云い

若あき意味と嚴

格より示す事らるる

例下より此の法則示す

受りし神神野も

初を決しも定る登りか先

角より左在り種との進

言をさす優柔の傾き

ありは日わの欠けり何

平持より一節あり

知星ももは頼りてし

由唇道も甘へ失禮と者

みす縁よのり出を所終

或重しも由諒ある事

右のまき意味と嚴

格より示す事らるる

関下より此のは訓示と

受りしに神神野

初を決心も定る所きか先

角より左右より種この進

言をすき、優柔の傾き

ありは日木の欠丘なる何

平持より此の

知是ともは頼り

此層恒より甘へ失禮者

みす勝よのり出と

或重しは西諺を

是よりそと相

十月十日 富田

大隈伯

関